

## 令和3年度 公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第5回）議事要旨

1 開催日時 令和4年1月25日（火）9：30～10：50

2 開催場所 オンライン会議（北九州市役所5階プレゼンルーム）

3 出席委員（五十音順：敬称略）

井上 洋美、権頭 喜美恵、勢一 智子、安浦 寛人、吉谷 愛

4 議事内容

（1）北九州市立大学の組織及び業務全般の見直しについて（案）

事務局から、北九州市立大学の組織及び業務全般の見直し（案）について説明。

（2）第4期中期目標（骨子案）について

ア 事務局から、第4期中期目標（骨子案）について説明。

イ 主な質疑応答及び意見

（委員）今期目標は、教育、研究、社会貢献、管理運営の4分野だったが、次期目標は第1から第6まで細分化されている。今後は6項目で評価していくのか。第3（業務運営の改善及び効率化）と第6（業務運営に関する重要事項）は、ともにガバナンスに関する内容であり、第3、第4（財務内容の改善）、第6も経営面から同様である。あえて分ける必要があるか。

（事務局）現在は、地方独立行政法人法に沿った項目としているが、まとめることも含め、再度検討したい。

（委員）「第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、北九州市立大学に関する記述があれば、それを次期目標に記載すべき。具体的記述がなくとも、どのような部分で期待されているかという点で整合性をとるべき。

（事務局）仕事を創出して人を呼び込むことが地方創生の考え方であるが、同戦略では、地元就職はもちろん、起業家精神を有する人材の育成という点においても大学の活躍が非常に期待されている。

（委員）国際的な活動に関する部分はどの項目に反映されるのか。

（事務局）第3の(2)（SDGs 未来都市への貢献）の中に、ダイバーシティを含めたまちづくりで国際化に寄与していく学生を育成するといった視点等を入れたいと思っている。地方創生との関係や国際化のキーワードについて、どのように具体的に入れていくか今後検討したい。

（委員）起業については、起業家を何人輩出する等の目標はあるか。

（事務局）起業に関するKPIについては議論が必要であるが、基本的に、目標にはKPIを入れず計画で示すものと考えている。

- (委員) 第1の(2) (地域や社会に求められる人材の育成) と第3 (地域 (社会) 貢献) は、目的が違うがプロセスが一緒になりやすい。評価方法等を検討いただきたい。
- (委員) デジタル化やDXの扱いが小さいが、教育、研究、地域貢献においても必要なツールであるため、大きく位置づけることが望ましい。
- (委員) 第6に、働き方改革の観点から教員や女性の働きやすさに関する内容を入れても良いのでは。障害がある方や在宅勤務等への対応も検討いただきたい。